

心理学講座より

「心理学講座」第4回配本附録

東京都神田局区内神保町2の24 電車通り 株式会社 中山書店



日本心理学会

大会の情況

佐藤幸治

日本心理学会第十七回大会はこの五月三日から五日まで広島大学で開催された。戦後八年、広島の復興も相当であつたが、心理学会の参会者も正会員、臨時会員、学生会員、合計六二三名にのぼり、研究発表は三四四で、予期以上の盛会であつた。研究報告の質からいっても、落ついた本格的なものが多くなつたとは、心あるものの一致した觀察であつた。

第一日と第三日とは一般の研究発表、第二日はシンポジウムで、午前、午後にわたつて「心理学の進歩と応用」という総題のもとに、知覚、行動の場理論、人格、行動の各領域に分かれ、研究発表、討論、議論が行われた。聴衆も多く、熱心な発表があつたのであるが、講演者の間の事前の打合せが不十分である、各人の独走に陥りがちなのがあつたり、中には研究というより單なる所見の開陳に流れしたものなどもあつたことが批判されていた。シンポジウムは特に期待されるところが大きいだけ、周到な事前の準備が要望される。

一般の研究発表数は各部門別にしてみると次のよ

うになる。(次第書のままによるから取消を削除していない)。

前年度の数をも次第書のままに併記

したが、若干区分の変更のあることを考慮するならば、全体の傾向にあまり大きな相違がなく、知覚、教育、検査等に幾分の増加が見られた程度である。

これを手許にある米国心理学会の一九五二年の大会の発表と比較してみると、

部門の区分の相違もあるが、第一に認められることは、米国ではシンポジウムの数が比較にならぬほど多いことであり、研究発表についていえば成人、老年や産業などが比較的多く、教育及び児童、青年の少数であることが注意される。これは教育心理学や発達などの多くは教育プロペアの学会の方にすつかり入りこんでいるためでないかとも考えられる。

ひとつひとつの研究について所見を述べるだけの紙数がないが、今回は各研究室の中心研究テーマによる一連研究が多かつた。しかし、これらについて活潑な討議を展開する時間の足らなかつたことは、米国にお

部門	1953	'52
学説・方法	6	10
知覚	53	43
学習・記憶	27	23
行動	22	28
思考・感情	8	7
生理的	11	13
人格	33	32
社会・文化	34	33
発達	40	45
教育・臨床	65	38
検査	39	15
産業・司法	33	19
異常	16	25
計	387	339

★人並指導・カウンセリング

★★知能・知能検査のみ

		報告			
部	門	シジウ	ボム	シジウ	ボム
一般	心理学教授法	3	1	3	1
実験	測定年会	3	6	3	4
評価	青社会	8	8	2	4
児童	異業	3	1	2	2
格	常業	2	2	2	2
臨床	セ指導	1	2	2	2
産業	老域	2	2	2	2
教育	年会	1	2	2	2
学校	カン公事成関係	1	2	2	2
カソウ	務事人	1	2	2	2
公事	年会	1	2	2	2
事成	老域	1	2	2	2
関係	年会	1	2	2	2
計		52		361	

若き日の白秋にとって、五月は、桐の花とカステラの季節であった。食卓の上の薄いプラスコの水にちらつく桐の花の淡紫色とカステラの優美のある新しい黄色さとがよく調和して、晩春と初夏

の前及び後に集中させ、人によっては三日間出席してもその専門に関しても効果の多いようにでも工夫すべきではなかろうか。また、これは発表者にとって相当苦労であるとしている。専門の報告をあらかじめ印刷配布すれば報告要項を充実したものにすることができる。専門の学会運営の上に考慮をする点でないかと考えられる。殆んど同数の報告をもつ米国心理学會大会が殆んど一週間にわたって開かれる

のであるから、我国でも中央日に総会をもつ五日間位とし、専門毎にその前及び後に集中させ、人によっては三日間出席してもその専門に関しても効果の多いようにでも工夫すべきではなかろうか。また、これは発表者にとって相当苦労であるとしている。専門の報告をあらかじめ印刷配布すれば報告要項を充実したものにすることができる。専門の学会運営の上に考慮をする点でないかと考えられる。殆んど同数の報告をもつ米国心理学會大会が殆んど一週間にわたって開かれる

ことなどと関連して、我が将来の学会運営の上に考慮をする点でないかと考えられる。殆んど同数の報告をもつ米国心理学會大会が殆んど一週間にわたって開かれる

ことなども米国の学会に学ぶべきではないか。心理学會のこの盛況を更に充実したものにすることが、米国に次ぐ盛況とグレード教授などに批評された我國心理学界の今後の重大な課題であろう。(京都大学教授)

スカートの陰影に春はくれゆくたらんてら踊りつくして疲れ伏す深むらさきのびらうとの椅子(踊子)若き日の白秋が紫に托したあの憂鬱は、われわれの、あの思春期の憂鬱である。小学生や中学生に、その愛好する色を尋ねみると、中学生になると、紫の愛好者が急にふえることを知る。不安の感情を、色で表現させてみたところが、紙の全面を紫で塗りつぶしたのも中学生であった。

憂鬱と不安。それは思春期の心理の大きな特徴である。中学生は、それを紫に投影したものであろう。白秋の「桐の花」、晶子の「乱れ髪」のなかにおける紫の異常な豊かさは、詩人の青春の憂鬱と不安の鮮やかな投影と解されぬであろうか。

詩人の色彩象徴

木村俊夫

夫

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

俊

木

村

——
一九五三年五月現在——
である。
——
訳語中カツコに入れてあるものはわれわれの案以外でよく用いられている言葉を示す。

學習心理学術語一覽

學習理論執筆者

まちな用いか
たをしている。
現状である。
われわれは、
本講座で学習
理論の紹介を
担当するに当
り、従来の雜
多な訳語の統
一、および
新しい用語の
訳出を試みた。

最近、学習理論は目覚ましい発展を示し、新しい重要な概念が相ついでたてられた。それに応じて、教多い術語(technical term)が作り出されて いる。本邦の学界においては、遺憾ながら

<p>[A]</p> <p>acquisition; 習得, 獲得 afferent neural impulse; 求心性神経衝撃</p> <p>after discharge; 残発射 amplitude of reaction; 反応の大きさ(振幅)</p> <p>annoying; 不満足 anticipatory goal reaction 予期的目標反応</p> <p>anxiety; 不安 associated inhibition; 連合禁止</p> <p>associative shifting; 連合推移</p> <p>asynchronism; 異時性 avoidance; 回避</p>	<p>configuration; 形態 consummatory reaction; 消費反応</p> <p>contiguity; 接近</p> <p>[D]</p> <p>delay of reinforcement; 強化の遅延(延滞) deprivation; (剝奪)</p> <p>デフリヴェイション differential reaction; 区別の反応</p> <p>disinhibition; 脱禁止 (脱制止)</p> <p>disintegration; 非統合 docility; 階級性 drive; 動因(原動)(衝動)</p>	<p>facilitation; 促進 fixation; 固執 fixed ratio; 定率</p> <p>[G]</p> <p>galvanic skin reaction; 皮膚電気反応</p> <p>generalization; 淫化 goal; 目標 goal gradient; 目標勾配 growth function; 成長函数</p>
<p>[B]</p> <p>backward conditioning; 逆行性条件づけ</p>	<p>[E]</p> <p>effector; 効果器 efferent~; 遠心性~ elicitation; 誘出 elicited response; 被誘導応答(反応) emitted response; 現出応答(反応) escape; 逃避 excitation; 興奮 expectancy, expectation; 期待</p>	<p>[H]</p> <p>habit family hierarchy; 習慣族階層</p> <p>habit strength; 習慣強度 higher order conditioning 高次条件づけ</p>
<p>[C]</p> <p>capacity; 容力 classical conditioning; 古典的条件づけ</p> <p>cognition; 認知 cognitive map; 認知地図 compound conditioned stimuli; 複合条件刺激 conditioned inhibition ・条件(性)禁止</p>	<p>incentive; 誘因 induction; 感応 inhibition; 禁止, (制止) instrumental conditioning; 手段的(道具的)条件づけ integration; 統合 interference; 幻想 intervening variables; 介在変数</p>	<p>[I]</p> <p>j. n. d. (=just noticeable difference); 最少可知差異</p>
<p>[F]</p> <p>extinction ratio; 消去率</p>		<p>[J]</p>

